



法人理念

- 子どもの意思、人格を尊重した支援サービスの提供に努めます。
- 子どもの生活能力向上に努めます。
- 将来社会との関わりが持てる事を目指します。
- みんな仲良くアットホームな環境づくりを心がけます。
- 地域家庭との結び付きを大切にします。

サービス内容

児童発達支援

営業日 月～土

営業時間

学校日 9:30～18:30

学校休業日 9:00～18:00

送迎 あり ・ なし

支援方針

- ひとり一人の特性や課題に寄り添った専門性の高い個別支援・集団支援を実施します。
- 保護者様の抱える「困った」を様々なツールやアセスメント等で背景を知り、子どもの行動を「すごいね」に変えていくお手伝いをします。

職員情報

児童指導員（幼稚園教諭・児童福祉施設5年以上経験者・介護福祉士・強度行動障害基礎実践研修修了者）
児童発達支援管理責任者

支援計画 プロセス

【アセスメント】

初回は発育状況に始まり定期的な自己理解・心理的課題等や保護者様のニーズを客観的に分析いたします。



【個別支援計画の作成】

アセスメントで得た情報に基づいて将来への見通しを持ったうえで発達段階を把握した個別活動・集団活動を適宜組み合わせで計画を立てていきます。

【支援療育の提供】

個別支援計画に基づき、子どもの情緒面や環境等に配慮した支援を実施いたします。また意思の疎通を図り円滑なコミュニケーションをとれるよう、楽しみながら支援を提供します。

【計画の見直し】

モニタリングに基づき、支援目標が高すぎないか・支援内容がっているか・別の課題が発生していないか等の視点で計画の見直しを検討します。

【モニタリング】

一定期間ごとにお子様の状況や目標の達成度、計画内容が適切か等の評価を行います。



支援内容

本人支援	5領域	ねらい	支援内容	プログラム例	
	健康・生活	- 健康状態の維持、改善 - 生活リズムや生活習慣の形成 - 基本的な生活スキル - 生活におけるマネジメントスキルの育成	- 料理やお菓子作りなどを通じた食育 - トイレトレーニング、歯磨き、着替え - 時間に応じた行動の切り替え - 構造化を意識した掲示物（スケジュールリングボード等）、子供への指示（セルフモニタリング）	- クッキングなどのでの食育 - トイレトレーニング - 時間に応じた行動の切り替え - 構造化を意識した掲示物や子どもへの指示（やることチェック）	
	運動・感覚	- 姿勢と運動、動作の向上 - 姿勢と運動、動作の補助的手段の活用 - 保有する感覚の総合的な活用	- 姿勢と運動、動作の基本的技能の向上 - 姿勢保持と運動動作の補助的手段の活用 - 身体に移動能力向上 - 保有する感覚の活用 - 感覚特性への対応	- 体操やダンス - 五感を使うゲームやクイズ - 感覚過敏な児童に配慮した環境設定（クールダウンスペース） - 感覚遊び	
	認知・行動	- 認知の発達と行動の習得 - 空間、時間、数字の概念形成の習得 - 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	- 感覚や認知の活用 - 知覚から行動への認知過程の発達 - 認知や行動の手がかりとなる概念の形成 - 数量、大小、色等の習得 - 認知の偏りへの対応 - 行動障害への予防及び対応	- ブロックなどの立体的な構造物を使った創作活動 - 音楽やリズムを使った五感を刺激する活動 - SSTワーク - 自己紹介ロールプレイ	
	人間関係 社会性	- 他者との関わり（人間関係）の構築 - 自己の理解と行動の調整 - 仲間つくりと集団への参加	- アタッチメント（愛着行動）の形成 - 模倣行動の支援 - 感覚運動から象徴遊び（ごっこ遊び等）への支援 - 自己の理解とコントロールのための支援	- ごっこ遊びや模倣店 - 自己紹介シート作成 - SSTやLST - ルールのある集団遊び - 協働遊び、平行遊び	
	言語・ コミュニケーション	- 言語の形成と活用 - 言語の受容と表出 - コミュニケーション基礎的能力の向上 - コミュニケーション手段の選択と活用	- 言語の形成と活用 - 受容言語と表出言語の支援 - 指さし身振り、サインの活用 - 人との相互活用によるコミュニケーション能力の獲得読み書き能力向上のための支援 - コミュニケーションツール（ICT等）の活用	- 考えを発表したりプレゼンを行う - 読み聞かせ - パソコンや携帯を使用したタイピング、フリック入力 - 文字の型はめパズル	
家族支援		児童の発達、支援内容、家庭生活、集団生活、兄弟関係、制度に関する相談助言等を家庭のニーズに応じて相談援助を事業所・ご家庭で実施		移行支援	インクルージョンに向けた取り組みの推進 事業所で習得した行動を園や家庭などで同様に行動できるように支援を行う
地域支援 地域連携		地域の子育て環境の支援体制の構築を目指す 教育機関、医療機関、保健所、児童相談者等との連携 地域支援、個別ケース検討野ための会議出席		職員の質の向上	児童発達支援責任者・管理者向け研修や指導員向け（内部・外部）研修を年間研修計画に沿って実施 制度や療育に関して様々な研修、虐待防止、感染予防、自然災害、防犯等の必須研修実施 カンファレンス、ミーティング
主な行事		- 春夏秋冬を感じるイベント（初詣 お花見 プールや川遊び ハロウィン クリスマスなど） - SSTに関するイベント（職業体験 防災体験 ボウリング カラオケ 果樹収穫などルールや決まりがある活動） - 身体機能に関するイベント（体育館活動 児童館イベント参加 段ボール工作大会など）			

令和8年4月1日改定

令和8年4月1日改定





法人理念

- 子どもの意思、人格を尊重した支援サービスの提供に努めます。
- 子どもの生活能力向上に努めます。
- 将来社会との関わりが持てる事を目指します。
- みんな仲良くアットホームな環境づくりを心がけます。
- 地域家庭との結び付きを大切にします。

サービス内容 放課後等デイサービス

営業日 月～土

営業時間

学校日 9:30～18:30

学校休業日 9:00～18:00

送迎 あり ・ なし

支援方針

- ひとり一人の特性や課題に寄り添った専門性の高い個別支援・集団支援を実施します。
- 保護者様の抱える「困った」を様々なツールやアセスメント等で背景を知り、子どもの行動を「すごいね」に変えていくお手伝いをします。

職員情報

児童指導員（幼稚園教諭・児童福祉施設5年以上経験者・介護福祉士・強度行動障害基礎実践研修修了者）
児童発達支援管理責任者

支援計画 プロセス

【アセスメント】

初回は発育状況に始まり定期的な自己理解・心理的課題等や保護者様のニーズを客観的に分析いたします。



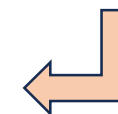
【個別支援計画の作成】

アセスメントで得た情報に基づいて将来への見通しを持ったうえで発達段階を把握した個別活動・集団活動を適宜組み合わせで計画を立てていきます。



【支援療育の提供】

個別支援計画に基づき、子どもの情緒面や環境等に配慮した支援を実施いたします。また意思の疎通を図り円滑なコミュニケーションをとれるよう、楽しみながら支援を提供します。



【モニタリング】

一定期間ごとにお子様の状況や目標の達成度、計画内容が適切か等の評価を行います。



【計画の見直し】

モニタリングに基づき、支援目標が高すぎないか・支援内容が適切にあるか・別の課題が発生していないか等の視点で計画の見直しを検討します。



支援内容

5領域		ねらい	支援内容	プログラム例	
本人支援	健康・生活	- 健康状態の維持、改善 - 生活リズムや生活習慣の形成 - 基本的な生活スキル - 生活におけるマネジメントスキルの育成	- 料理やお菓子作りなどを通じた食育 - トイレトレーニング、歯磨き、着替え - 時間に応じた行動の切り替え - 構造化を意識した掲示物（スケジュールリングボード等）、子供への指示（セルフモニタリング）	- クッキングなどでの食育 - トイレトレーニング - 時間に応じた行動の切り替え - 構造化を意識した掲示物や子どもへの指示（やることチェック）	
	運動・感覚	- 姿勢と運動、動作の向上 - 姿勢と運動、動作の補助的手段の活用 - 保有する感覚の総合的な活用	- 姿勢と運動、動作の基本的技能の向上 - 姿勢保持と運動動作の補助的手段の活用 - 身体に移動能力向上 - 保有する感覚の活用 - 感覚特性への対応	- 体操やダンス - 五感を使うゲームやクイズ - 感覚過敏な児童に配慮した環境設定（クールダウンスペース） - 感覚遊び	
	認知・行動	- 認知の発達と行動の習得 - 空間、時間、数字の概念形成の習得 - 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	- 感覚や認知の活用 - 知覚から行動への認知過程の発達 - 認知や行動の手がかりとなる概念の形成 - 数量、大小、色等の習得 - 認知の偏りへの対応 - 行動障害への予防及び対応	- ブロックなどの立体の構造物を使った創作活動 - 音楽やリズムを使った五感を刺激する活動 - SSTワーク - 自己紹介ロールプレイ	
	人間関係 社会性	- 他者との関わり（人間関係）の構築 - 自己の理解と行動の調整 - 仲間づくりと集団への参加	- アタッチメント（愛着行動）の形成 - 模倣行動の支援 - 感覚運動から象徴遊び（ごっこ遊び等）への支援 - 自己の理解とコントロールのための支援	- ごっこ遊びや模倣店 - 自己紹介シート作成 - SSTやLST - ルールのある集団遊び - 協働遊び、平行遊び	
	言語・ コミュニケーション	- 言語の形成と活用 - 言語の受容と表出 - コミュニケーション基礎的能力の向上 - コミュニケーション手段の選択と活用	- 言語の形成と活用 - 受容言語と表出言語の支援 - 指さし身振り、サインの活用 - 人との相互活用によるコミュニケーション能力の獲得読み書き能力向上のための支援 - コミュニケーションツール（ICT等）の活用	- 考えを発表したりプレゼンを行う - 読み聞かせ - パソコンや携帯を使用したタイピング、フリック入力 - 文字の型はめパズル	
家族支援		児童の発達、支援内容、家庭生活、集団生活、兄弟関係、制度に関する相談助言等を家庭のニーズに応じて相談援助を事業所・ご家庭で実施		移行支援	インクルージョンに向けた取り組みの推進 事業所で習得した行動を園や家庭などで同様に行動できるように支援を行う
地域支援 地域連携		地域の子育て環境の支援体制の構築を目指す 教育機関、医療機関、保健所、児童相談者等との連携 地域支援、個別ケース検討野ための会議出席		職員の質の向上	児童発達支援責任者・管理者向け研修や指導員向け（内部・外部）研修を年間研修計画に沿って実施 制度や療育に関して様々な研修、虐待防止、感染予防、自然災害、防犯等の必須研修実施 カンファレンス、ミーティング
主な行事		- 春夏秋冬を感じるイベント（初詣 お花見 プールや川遊び ハロウィン クリスマスなど） - SSTに関するイベント（職業体験 防災体験 ボウリング カラオケ 果樹収穫などルールや決まりがある活動） - 身体機能に関するイベント（体育館活動 児童館イベント参加 段ボール工作大会など）			



令和8年4月1日改定

令和8年4月1日改定

